※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１８

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・楷書をはじめとする漢字のさまざまな書体を体験し、日本独自の仮名文字を学び、文字の変遷過程や時代背景について理解していきます。
・作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

⑴　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
⑵　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
⑶　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写から書道へ	国語科書写と芸術科書道 用具･用材 姿勢･執筆法 書体の変遷	a:用具・用材の扱いや書くときの姿勢・執筆法について理解している。（知） a:用具・用材を正しく扱い、正しい姿勢・執筆法で書いている。（技） a:書体の変遷について理解し、日本及び中国の文字と書の伝統と文化について理解している。(鑑・知) c:芸術科書道の学習に興味を持ち、主体的に取り組もうとしている。	作品		観察
	漢字の書	楷書の学習 「孔子廟堂碑」 「九成宮醴泉銘」 「雁塔聖教序」 「自書告身」	a:楷書の古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、また線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。（技） b:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ｂ:楷書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） ｃ:楷書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:楷書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品 ワークシート	作品 ワークシート	振り返り ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

２学期	篆刻	篆書の学習 「泰山刻石」	a:篆書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、また線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。（技） b:篆書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ｂ:篆書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） ｃ:篆書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:篆書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品	振り返り 観察
		篆刻の学習 姓名印をつくる	a:篆刻制作の手順を理解し、選文・検字や布字、運刀に関する知識や技法を理解している。（知） a:篆刻制作における線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:篆刻制作の手順を理解し、線質、字形、構成を生かした印稿づくりと正しい執刀法を身に付けている。（技） b:さまざまな印影から、書体や書風に即した線質、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ｂ:印の価値とその根拠について考え、印のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） ｃ:篆刻の表現の特質に基づく幅	作品 プリント	作品 プリント	 プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

			広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:印のよさや美しさを甘受し、印の果たす意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）			
	漢字の書	行書の学習 「蘭亭序」 「風信帖」	a:行書の古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、また線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。（技） b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ｂ:行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） ｃ:行書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品	振り返り 観察

※令和４年度以降入学生用

		行書創作 色紙作品～四字熟語～	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、また線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。（技） b:行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成、意図に基づいた表現について構想し、工夫している。 ｂ:行書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） ｃ:自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:行書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品 プリント	作品 プリント	プリント 観察

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書	創作 ことわざを書く	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。（技） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 ｂ:創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) ｃ:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品	観察

※令和４年度以降入学生用

３学期	漢字仮名交じりの書	創作 ラミネート作品 ～好きな言葉を書こう～	a:用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わりについて理解している。（鑑・知） a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている。（技） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 ｂ:創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。(鑑) ｃ:自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。（鑑）	作品	作品 カード	 カード 観察

※令和４年度以降入学生用

	仮名の書	仮名の学習 平仮名 変体仮名 連綿 「蓬莱切」	a: :用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。（知） a:線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。（鑑・知） a:仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質、字形、構成を生かした表現を身に付けている。（技） b:仮名の古典のよさや美しさを甘受し、古典の特徴や書風に即した用筆・運筆、字形、墨継ぎ、全体の構成について構想し、工夫している。 ｂ:仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。（鑑） ｃ:仮名の古典の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。 c:仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。(鑑)	作品 プリント	作品	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度